

大学院看護学研究科		授業科目	小児看護福祉論 Welfare in Advanced Child Health Nursing			担当 教員	二宮啓子（専任） 植本雅治（専任） 他5名（非常勤）	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義・ゼミ	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>先天障害や後天的に健康障害をもった子どもと家族において、早期発見・早期療育・教育のシステム、在宅ケアシステム、および経済的支援等の現状を広く探究し、医療と福祉の連携のあり方と課題を追求する。そして、専門看護師として、実際の場面で活用できる他職種との連携・調整の方法を探求する。</p>						
授業のキーワード		小児、障害児、医療、メンタルヘルスケア、福祉、教育、連携						
講義回数	授業内容及び計画							
1～6回	<p>I. 障害児の医療・福祉・教育制度に関する現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神発達遅滞の早期発見と訓練・教育 2. 神経難病と在宅ケアの展開と課題 3. 重症心身障害児の医療・福祉・教育システム 4. 障害児・病弱児の教育（医療的ケアを含む） 5. 障害児のリハビリテーション 							
7～10回	<p>II. 小児期に見られる心理社会的問題とメンタルヘルスケア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不登校 2. 摂食障害 3. 児童虐待 4. 慢性疾患・悪性疾患患児の心理社会的問題と包括的ケア 5. チーム医療の中での心理療法の進め方 							
11～12回	<p>III. 児童虐待における現状－医療・福祉の連携の実際－</p>							
13～15回	<p>IV. 障害および心理社会的問題をもつ小児と家族への看護援助 ・事例を通して医療・福祉との最良の連携・調整の方法を検討する。</p>							
テキスト	なし							
参考文献	必要に応じて提示する。							
成績評価の方法と基準	授業中の参加状況（討議・発表）50%、レポートを50%で評価する。							
教員から学生へのメッセージ	<p>小児看護専門看護師は、病院や施設内のみならず、在宅における小児・家族への支援をも含めた広い視野での看護活動が求められています。この授業では、医療・福祉・教育との連携を円滑に進めるためにそれぞれの関係職種への理解を深め、連携の仕方を考えてほしいと思っています。</p>							